

一人一台端末を活用した「英語パンフレット」の作成

アプリ名 Pages (iPad)

一人一台端末を用いて、Pages (Wordの様なもの) で日本を紹介する英語パンフレットを作成しました。実際に紙に書くことも大切ですが、これからの社会ではICTの活用能力も求められると考え、iPadでレポートを作成しました。初めての取り組みのため、全4時間かかりました。生徒は楽しく日本文化を考えたり、文章を英語で作ったりすることができました。普段の授業において、あまり英作文の時間が取れなかったため、書く力を伸ばす良い機会になりました。パンフレット作成後にはペア、グループで発表練習を行い、最後にALTの先生にも発表を行いました。

ICT活用のポイント

- Pagesのアプリの中に、テンプレートがあるので、その基本の型を利用して、生徒に工夫を加えるように伝えました。
- 端末操作が苦手な生徒は基本の型に沿って作成し、得意な生徒は背景に色をつけたり、キャラクターを登場させたりするなど、型を応用することができていた。
- 生徒の発想が豊かなので、「自由に工夫するように」とだけ伝えた。

<第3学年 Discover Japan>



生徒が作成した英語パンフレット

<第3学年 Discover Japan>



発表風景


オンライン授業でも「生徒主体」

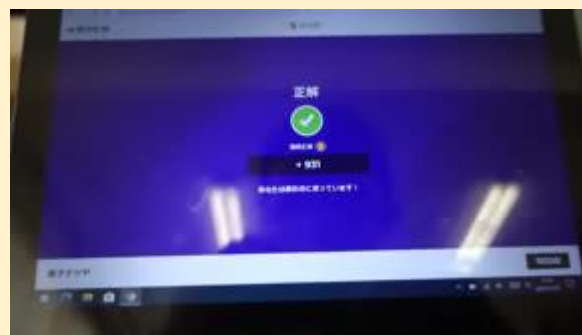
使用アプリ：SKYMENU、Kahoot！


オンライン授業が徐々に浸透していく中で、家庭での学習への配慮も少なからず求められています。また、教師が一方向的にICTを使うだけではなく、生徒主体となって学びを深めるための実践例が各教科で行われています。

習字の学習の場面で、1回目に書いた作品と1番上手に書けた作品を比較する取り組みを、タブレットのカメラとSKYMENUを用いて行いました。家庭からのアクセスも可能で、全体で共有しながら、教科担任から好評がありました。新しい取り組みでしたが、習字の上達は一目瞭然でした。



 授業風景（動画：約14秒）



 授業風景（動画：約19秒）

英語：オンラインクイズ対決

入試対策の一環として、これまでの文法や不規則動詞など、Kahoot！を用いて楽しく真剣に復習する授業を行っています。事前に作成した問題を、教室とオンラインの双方から回答し、早さと正確さを競っています。ゲームの要素もありながら、今の時代に合った方法とも考えられます。